

## コンビ チャイルドシート ジョイトリップ アドバンス シリーズ

### 取扱説明書 品質保証書付

お子さまの安全のため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。

- 本書は座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。
- 66ページの品質保証書に、必要事項をご記入ください。



お使い  
いただいた  
前に

チャイルド  
モードの  
使いかた

ジュニア  
モードの  
使いかた

お手入れ・  
その他

本製品は、UN R129/03において認可されたi-Sizeチャイルドシート/i-Sizeブースターシート/特定車両用ブースターシートです。

- ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具(バー)とトップテザーアンカーを装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書でISOFIXサイズクラスに適応しているか確認してください。
- ジュニアモードでは、UN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り適しています。

モード	お子さまの条件
チャイルドモード	身長: 76cm ~ 105cmまで かつ 月齢 15ヵ月以上 ※体重 20kgを超えるお子さまには使用できません。
ジュニアモード	身長: 100cm ~ 150cmまで

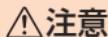


お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。

【チャイルドモード】身長 76cm ~ 身長 105cmまでかつ月齢 15ヵ月以上

(※体重 20kgを超えるお子さまは、使用できません。)

【ジュニアモード】身長 100cm ~ 150cmまで



お子さまの負担を考え、長時間連続しての使用を避け、1時間程度を目安に休憩をとってください。

# もくじ

## お使いいいたく前に

お使いいいたく前に	2
各部のなまえ	3
ご使用の条件	6
取り付けできる座席	7
車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)	8
取り付けできない座席	9
安全にお使いいいたくために	11
組み立て	19

## チャイルドモードの使いかた

取り付け準備	22
車への取り付けかた	24
取り付け完了チェックのしかた	30
車からの取りはずしかた	32
幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた	33
お子さまの座らせかた	35
お子さまのおろしかた	38

## ジュニアモードの使いかた

ジュニアモードへの変更のしかた	39
取り付け準備	45
車への取り付けかた	46
お子さまの座らせかた	48
クッションベルトの使いかた	51
取り付け完了チェックのしかた	52
チャイルドモードへの戻しかた	53

## お手入れ・その他

幌の使いかた	54
ヘッドクッションの使いかた	55
カバーの取りはずしかた・取り付けかた	56
収納モードへの変更のしかた	60
収納モードでの保管のしかた・持ち運びかた	62
お手入れのしかた	63
保管・廃棄のしかた	65
品質保証書	66
お問い合わせ先	裏表紙

# お使いいただく前に

このたびは、コンビ チャイルドシートをお買い上げいただき、ありがとうございます。

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、正しくご使用ください。

## 〈中古品のご使用について〉

- ・使用履歴が不明な製品、特に事故歴の不明な製品は絶対に使用しないでください。
- ・ひび割れや大きな傷、止め金具のゆるみなどがある場合は、絶対に使用しないでください。衝突事故や製品の落下などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

チャイルドシートは、交通事故などの場合にお子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは、必ず保護者のかたが同乗してください。

## ●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため重要な事項を「危険」、「警告」、「注意」の表示で説明しております。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
△危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。
△警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
△注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。
ワンポイント 	チャイルドシートをご使用いただく上で知っておいていただきたいこと、および知っておくと便利な内容です。

# 各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

- ご使用前に、66ページの「品質保証書」に次の項目を記入してください。

①製品名とロットNo. (ヘッドガード裏側に貼ってあるシールに記載されています)

②お客様のお名前・ご住所・電話番号

③販売店名

- レシート(領収書)を本書といっしょに保管してください。

※本書に使用しているイラストは、操作方法などをわかりやすく説明するため、製品とは若干異なる場合があります。

※製品により仕様が異なる場合があります。

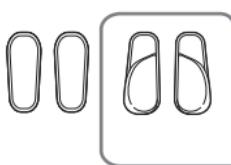
また製品の仕様は改善などのため、予告なく変更することがあります。

## 梱包内容

- 本体

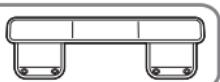


- 肩ベルトカバー



- 腰ベルトカバー

(ジュニアモードでは  
「クッションベルト」として  
ご使用いただけます)



ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム

- ヘッドクッション



- 幌



ジョイトリップ アドバンス  
プレミアム

- ISOFIX キャップ



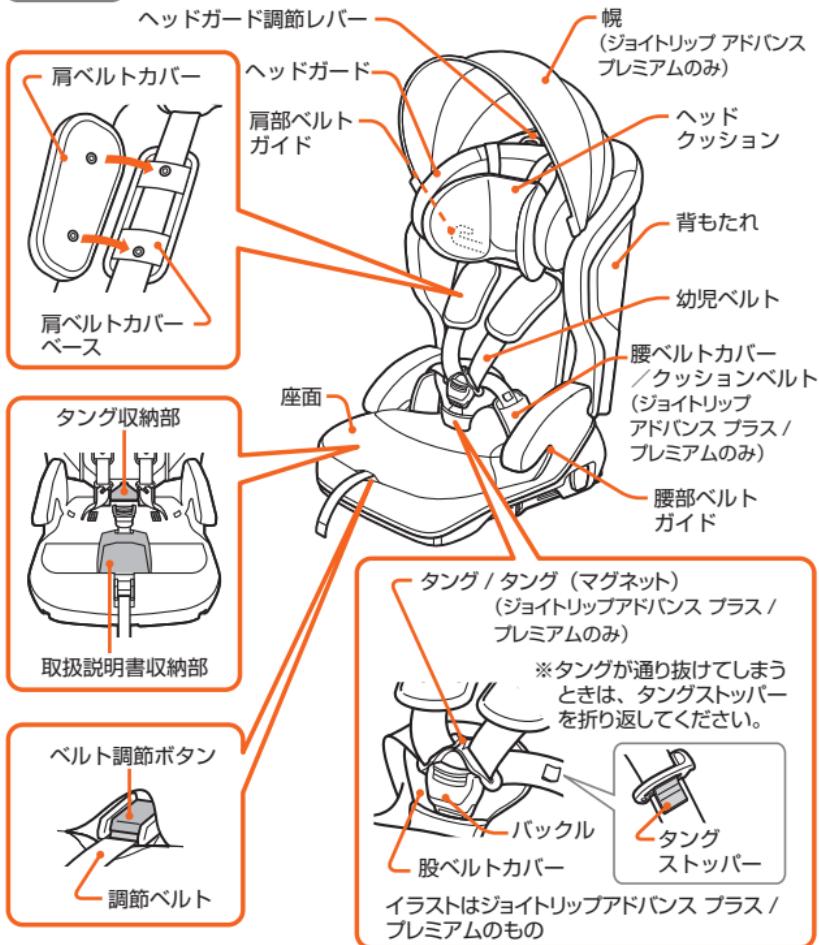
- 取扱説明書(本書)



- お客様登録カード



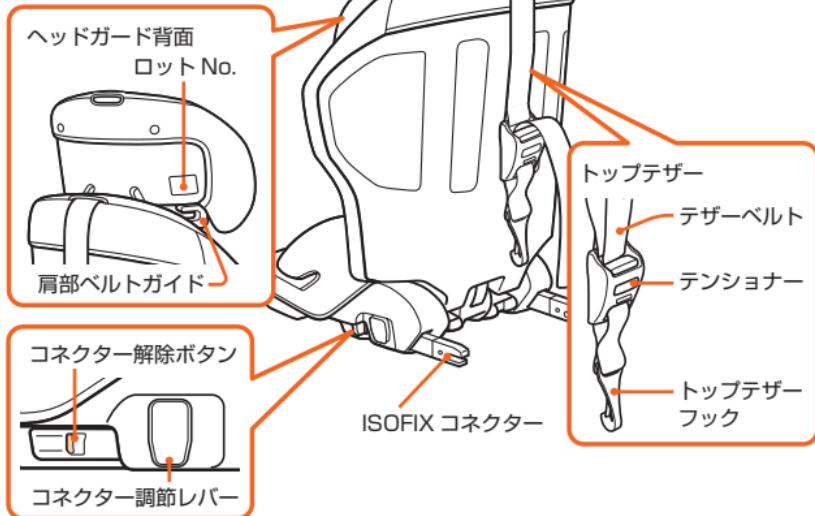
## 正面



# 各部のなまえ

お使いいただく前に

## 背面



# ご使用の条件

お子さまの身長に合わせて以下のモードで使用します。

モード	チャイルドモード	ジュニアモード	
使用状態	 ヘッドクッション使用		
条件	身長 76cm ~ 105cmまで かつ 月齢 15ヵ月以上 (※体重20kgを超えるお子さまは、使用できません。)	身長 100cm ~ 150cmまで	
お子さまの拘束方法	チャイルドシートの幼児ベルトでお子さまを拘束します。	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。	
チャイルドシートの車両への固定方法	ISOFIXコネクターとトップテザーで車両座席に固定します。	ISOFIXコネクター、トップテザーとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。 ISOFIXコネクターとお子さまを拘束している車両シートベルトで車両座席に固定します。	お子さまを拘束する車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

お使いいただく前に



お子さまが下記の条件を満たしていない場合は使用しないでください。  
【チャイルドモード】身長 76cm ~ 身長 105cmまでかつ月齢 15ヵ月以上 (※体重20kgを超えるお子さまは、使用できません。)  
【ジュニアモード】身長 100cm ~ 150cmまで

# 取り付けできる座席

ISOFIX型チャイルドシートの取り付けを認可された座席に取り付けることができます。ただし、ISOFIX取付金具(バー)を装備した全ての座席に取り付けられるものではありません。

ご使用の際には、必ず車種適合および車両の取扱説明書で下記のISOFIXサイズクラスに適応しているか確認してください。

車種適合につきましては下記のサイトにてご確認ください。

[www.combi.co.jp/childseat/seat\\_search/](http://www.combi.co.jp/childseat/seat_search/)

コンビ 適合 検索



本製品のISOFIXサイズクラス

お子さまの身長	固定具
76cm～105cm	F2X

お子さまの身長	固定具
100cm～150cm	B2

チャイルドモード(身長:76cm～105cm)で使用する場合

## ISOFIX取付金具について

ISOFIX取付金具とは、ISOFIXチャイルドシートを取り付けるために、車両背もたれと車両座面の間に装備された金具(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

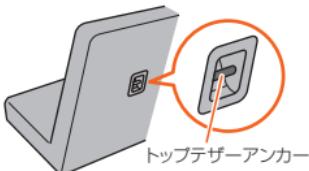


## トップテザーアンカーについて

トップテザーアンカーとは、トップテザーフックを固定するために、車両に装備された金属(バー)です。車両により、名称や位置が異なる場合がありますので、必ず車両の取扱説明書で確認してください。

※トップテザーアンカーの位置の例

<車両座席背面>



<ラゲッジスペース> <リアパーセルシェルフ>



<フロア>



<天井>



# 車両シートベルトの種類と使用上の注意(シートベルト使用時)

## ジュニアモード(身長:100cm ~ 105cm)で使用する場合

チャイルドシートは、シートベルトの種類により取り付けかたが異なったり、取り付けられない場合があります。

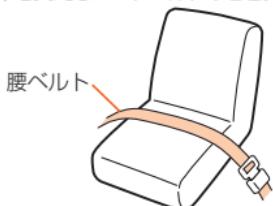
本製品はUN R16 または、他の同等の基準に基づいて認可された3点式シートベルトを装備した車種に限り使用するのに適しています。



- 必ず3点式シートベルトの座席に取り付けてください。
- 2点式シートベルトの座席では絶対に使用しないでください。本来の機能を果たさず、大変危険です。

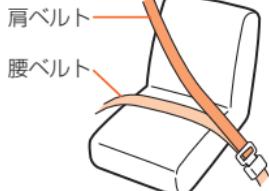
### 2点式シートベルトとは

図のよう、肩ベルトがなく、腰ベルトの左右2点で体を支えるシートベルトのこと。



### 3点式シートベルトとは

図のよう、腰ベルトの左右と肩ベルトの3点で体を支えるシートベルトのこと。



シートベルトの種類と特徴(見分けかた)		取り付け注意点
ELR	ゆっくり引くと自由に入り出し、勢いよく引くとロックする。	ゆっくりとシートベルトを引き出して取り付けてください。
AELR	シートベルトを全て引き出した後で巻き戻すとチャイルドシート固定機能がはたらき、それ以上伸びなくなる。(シートベルトを全て巻き戻すと解除される)	シートベルトを全て引き出すと危険です。 シートベルトを1度戻して、チャイルドシート固定機能を解除してから取り付けてください。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	使用できません。

※シートベルトの種類が不明な場合は、各自動車メーカーにお問い合わせください。

お使いいただく前に

# 取り付けできない座席

下記以外の座席でも、チャイルドシートをしっかりと固定できない場合は使用しないでください。

※ 助手席への取り付けはエアバッグの有無に関わらずおすすめできませんので、車種適合調査は行っておりません。

## ●エアバッグ装備の座席。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



## ●極端なバケットシート。

… 座面の中央が深くへこんでいる座席。



## ●車両ヘッドレストが極端に出っ張っている座席

… 車両ヘッドレストの形状により、リクライニング操作やチャイルドシートのヘッドレスト調節操作ができない座席。

※ 車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずすことで操作が可能になれば、その座席でも取り付けできます。



## ●進行方向に対して横向き、または後向きの座席。

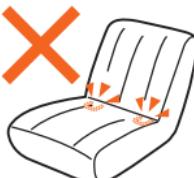


## ●座席の凹凸が極端で、取り付けたときに不安定になる座席。



## ※チャイルドモードでの使用時のみ

## ●ISOFIX取付金具(バー)、トップテザーアンカーが装備されていない座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ  
●車両シートベルトの付いてない座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ  
●2点式シートベルトの座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ  
●車両シートベルトの長さが極端に短い座席。



※ジュニアモードでの使用時のみ  
●パッシブシートベルトの付いた座席。

※パッシブシートベルトとは  
… 車両座席に座ってドアを閉めると、自動的に車両シートベルトを装着してくれる装置のこと。(オートマチックシートベルト)



※ジュニアモードでの使用時のみ  
●車両シートベルトが座席の中間から出ている座席。

… チャイルドシートの腰部ベルトトガイドの位置よりも、前方向からシートベルトが出ている座席。



# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 危険

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

- 使用条件に適合しないお子さまや、取り付けできない座席などでは、使用しないでください。



- エアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。

衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

… サイドエアバッグのみの場合には使用できます。



- お子さまがチャイルドシートの上に立ったり、中腰になったり、正座をしないように注意してください。

※チャイルドモードで使用の場合、お子さまを座らせたときには、お子さまに股ベルトカバー、幼児ベルトが正しく装着され、左右のタングがしっかりとバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。



- チャイルドモードで使用の場合、本製品は車両シートベルトで固定することはできません。

## ⚠危険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けしないでください。



- ジュニアモードで使用の場合、お子さまを座らせたとき、車両シートベルトの差込金具が車両バックルに正しく差し込まれており、はずれないことを確認してください。



お使いいただく前に

## ⚠緊急時の脱出

事故など緊急時は、保護者のかたがバックルボタンを押し、幼児ベルトをはずして、(ジュニアモードで使用の場合は車両シートベルトをはずして)すみやかにお子さまを車外に脱出させてください。



# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けた場合は、外見上の破損がなくても、絶対に使用しないでください。



- 製品の改造や不当な修理をしないでください。



- 2ドアや3ドアの車で後座席に人が乗る場合は、チャイルドシートを助手席に取り付けないでください。緊急時の脱出のさまたげになります。



- お子さまを車内に1人で放置しないでください。日差しの強い日などには、車内の温度が高くなり、お子さまが脱水症状になるおそれがあります。また予期せぬ事故の原因になります。必ず保護者のかたが同乗してください。



- お子さまが座っていないときでも、ISOFIXコネクターおよびトップティザーフック(チャイルドモード使用時)または車両シートベルト(ジュニアモード使用時)で固定しておいてください。急ブレーキをかけたときなど、車内に転がり、運転のさまたげとなることがあります。



 **警告**

- チャイルドモードで使用の場合、  
幼児ベルトがたるんだ状態で使用しないでください。ベルトが首に巻き付き、窒息するおそれがあります。



- チャイルドモードで使用の場合、  
お子さまがバックルボタンを押してしまう可能性があります。タングがバックルからはずれていないことを確認してください。はずれていいると本来の働きをせずさらにベルトが首に巻き付くおそれもあります。



- チャイルドモードで使用の場合、  
バックルにゴミ・飲食物などが詰まつて確実に差し込めない場合または解除しにくい場合は修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



- チャイルドモードで使用の場合、  
幼児ベルトに傷がついたときは、ご使用にならないでください。  
修理の必要がありますので、当社のコンシューマープラザへお問い合わせください。



お使いいただく前に

# 安全にお使いいただくために

## ⚠️警告

### ●チャイルドモードで使用の場合、

タングを差し込む際はお子さまの手足や衣類をはさまないように注意してください。

※ジョイントリップアドバンス プラス/プレミアムのみ

### ●チャイルドモードで使用の場合、

タングの磁石がペースメーカーの作動に影響をおよぼすおそれがあります。ペースメーカーをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。

※ジョイントリップアドバンス プラス/プレミアムのみ

### ●チャイルドモードで使用の場合、

タングの磁石に異物が付着するおそれがあります。使用前に異物の付着がないこと確認してください。

※ジョイントリップアドバンス プラス/プレミアムのみ

### ●チャイルドモードで使用の場合、

磁気による損傷を受けやすいものはタングに近づけないでください。(磁気カード、腕時計、電子機器など)

### ●ジュニアモードで使用の場合、

車両シートベルトに傷がある場合は、  
その座席に取り付けないでください。



### ●ジュニアモードで使用の場合、

チャイルドシート固定機能付きシートベルトのときは、固定機能を働かせないでください。お子さまが締め付けられ、胸が圧迫されます。



 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定される内容です。

- チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分注意してください。



- 直射日光があたると、本体やタンクなどが熱くなり、お子さまがヤケドをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部を触り、熱くないことを確認してから使用してください。



- 座席の表皮素材（革など）や形状によっては、座席に傷や跡がつくおそれがあります。

- シートカバーなどの縫製品や、ウレタンなどのクッション材をはずしたまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取り替えたりしないでください。（衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります）



- 拘束や調節操作をする際、爪や付け爪が巻き込まれる可能性がありますので、十分注意してください。



- お子さまを乗せた状態で、取り付け・取りはずし・持ち運びはしないでください。

# 安全にお使いいただくために

## ⚠ 注意

お使いいただく前に

- 固定されていない物を車内に置く場合は急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがありますので、十分注意してください。



- チャイルドシートを通常のいすとして使用すると、転倒してケガの原因となります。本書に記載されていない使いかたをしないでください。



- 車両座席に、クッションや座布団などを敷いたまま、チャイルドシートを取り付けないでください。チャイルドシートがしっかりと固定されません。

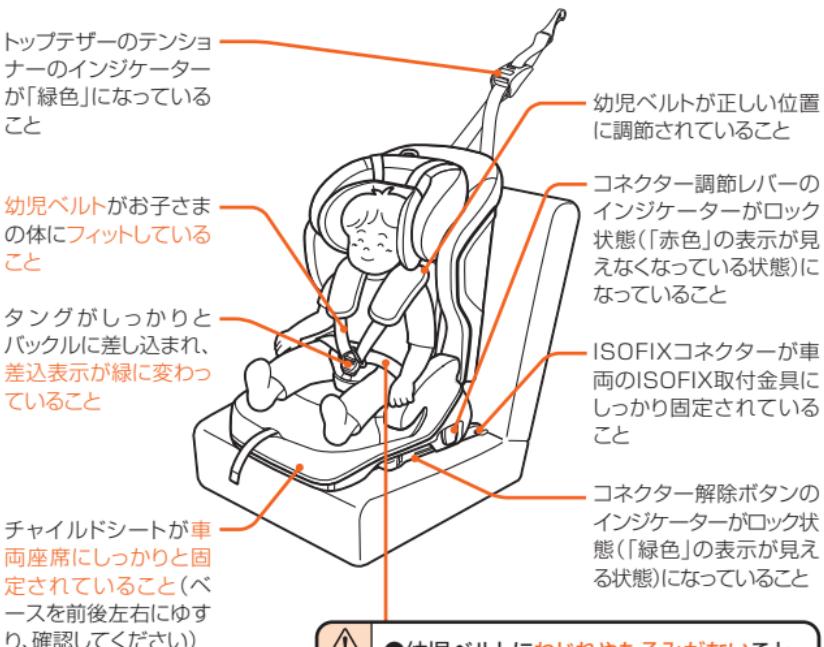


- 走行中は、チャイルドシートの操作や調節をしないでください。また、同乗している他のお子さまがチャイルドシートに触らないようにしてください。
- チャイルドシートを風雨にさらさないでください。
- 幼児ベルトを持ってチャイルドシートを持ち運びしないでください。

## ⚠️ 日常の点検

チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前には、次の事項を点検してください。

お使いいただく前に



- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと
- お子さまの骨盤をしっかりと拘束するように、必ず幼児腰ベルトを低く下げるこ

※ イラストはチャイルドモードでの使用例

# 組み立て

工場出荷時、本製品は背もたれと座面がはずれた状態になっています。

お使いいただく前に

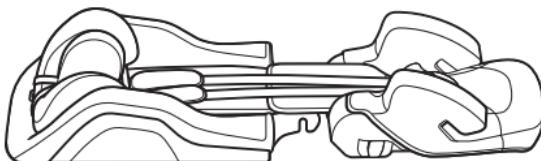


- 組み立てるときは、平らでやわらかい床の上で行ってください。製品の破損や床への傷つきを防ぎます。
- 組み立てるときは、周囲の人にも気をつけて指などはさまないように注意してください。
- 組み立てたチャイルドシートを持ち運ぶ場合は、図のように持ち、**背もたれと座面の接合部**に指をはさまないように注意してください。
- ※組み立てたチャイルドシートの背もたれと座面は動きます
- ベルト類を、背もたれと座面の間にはさまないように注意してください。**

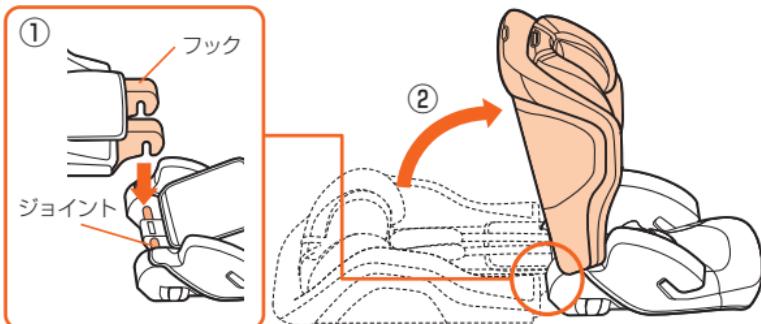


## 背もたれの取り付け

- 1 背もたれと座面を平らでやわらかい床の上に置く。



- 2** ①背もたれのフックを座面のジョイントに合わせ押し込む。  
 ②合わせた状態で、背もたれが座面に当たるまでゆっくり起こす。  
 ※起こす時に、2回突起を乗り越えます。(「背もたれの使用範囲」27  
 ページ参照)



お使いいただく前に

### 背もたれの使用範囲

- ①背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。  
 ②さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。  
 背もたれは、1つ目の突起部を乗り越えたところから2つ目の突起部を乗り越えたところ  
 の間で使用してください。



# 組み立て

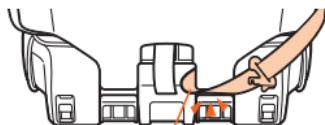
お使いいただく前に

## 注意

必ず次の内容を確認してから使用してください。

チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。

幼児ベルトや調節ベルト、テザーベルトなどが背もたれと座面の接合部にはさまれていないことを確認してください。



幼児ベルトがはさまれている。



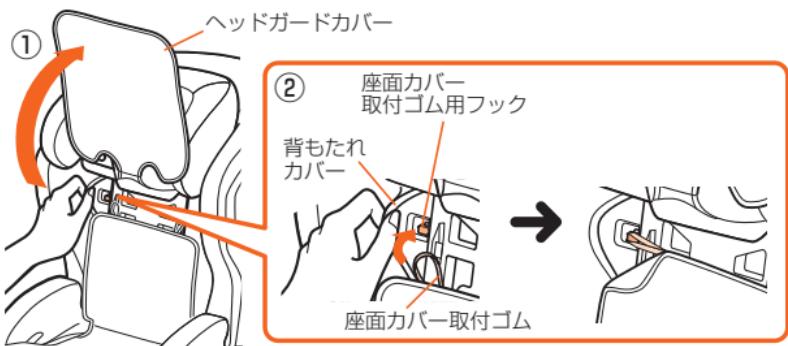
調節ベルトがはさまれている。

※取りはずしは、取り付けの逆の手順です。

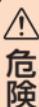
## 座面カバー取付ゴムの取り付け

ヘッドガードカバーをめくり上げ、さらに背もたれカバーをめくり、左右2カ所の座面カバー取付ゴムを座面カバー取付ゴム用フックに取り付ける。

(背もたれカバーをめくらないと取付ゴム用フックは見えません)



※座面カバー取付ゴム用フックは、②のイラストのように背もたれカバーをめくったところにあります。(②のイラストは正面から見て左側となります)



- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- チャイルドモードでの使用時は車両シートベルトで固定することはできません。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。

下記のサイトにて取扱説明動画を提供しておりますので、  
ご確認ください。

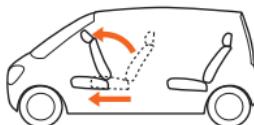
[www.combi.co.jp/soudan/after/  
manual\\_dvd.html](http://www.combi.co.jp/soudan/after/manual_dvd.html)



## 1 ①取り付け作業は、ドアの全開操作が可能な、平らな場所で行う。



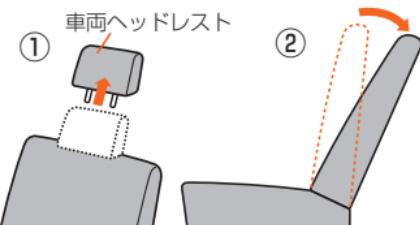
②車内の作業スペースを確保するため、前座席を倒したり、スライドさせて  
から取り付ける。



# 取り付け準備

## チャイルドモードの使いかた

- 2** ①車両ヘッドレストが取りはずせる場合は、取りはずす。  
※取りはずした車両ヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。  
②車両背もたれがリクライニングできる場合は、少し後方に倒す。

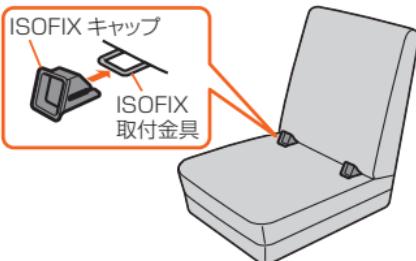


車両ヘッドレストが取りはずせない場合は、1番まで上げてください。



車種適合に「トップテザーは、車両ヘッドレストを付けた状態で取り付けてください」と表記があった場合は、車両ヘッドレストを可能な限り低い高さに調節し、車両ヘッドレストの上にテザーベルトを通して取り付けてください。

- 3** ISOFIXキャップをISOFIX取付金具に差し込む。



ISOFIX取付金具が車両座席にかくれて見えにくい場合は、付属のISOFIXキャップを使うことで、チャイルドシートを取り付けしやすくなります。ただし、車両座席によっては取り付けるとチャイルドシート背面と車両背もたれのすき間が大きくなる場合があります。このような場合は、使用せずに取り付けてください。



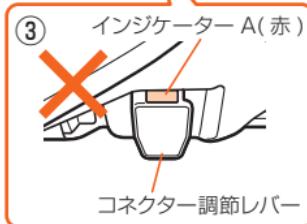
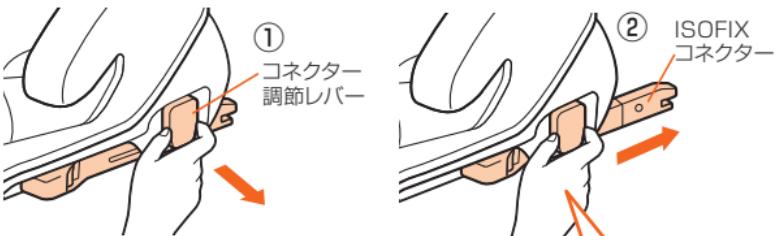
# 車への取り付けかた

**1** 本体を車両座席に置き、トップテザーフックとテンショナーを車両座席後方に出しておく。



**2** ISOFIXコネクターを引き出す。

- ①側面のコネクター調節レバーを引きながら、
  - ②ISOFIXコネクターを最大まで押し出す。
  - ③コネクター調節レバーから手をはなし、インジケーターAがロック状態（「赤色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。
- ※左右それぞれ作業を行ってください。

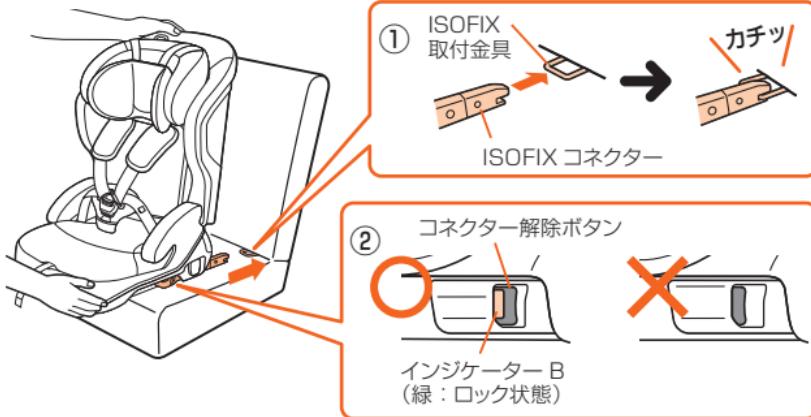


## 車への取り付けかた

### 3 ISOFIX取付金具にISOFIXコネクターを取り付ける。

- ①車両座席の左右ISOFIX取付金具に「カチッ」と音がするまで、それぞれISOFIXコネクターを差し込む。
- ②左右のインジケーターBがロック状態（「緑色」の表示が見える状態）になっていることを確認する。

チャイルドモードの使いかた



## 4 チャイルドシートの背面が車両背もたれに接するまで、座面を押し込む。

- ①コネクター調節レバーを引きながら、チャイルドシート背面が車両背もたれに接するまで左右片側ずつ座面を強く押し込む。強く押し込んだまま調節レバーをはなし、「カチッ」と音がするまでさらに押し込む。  
左右均等に車両背もたれに接するように調節する。
- ②手をはなし、インジケーターAがロック状態（「赤色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。

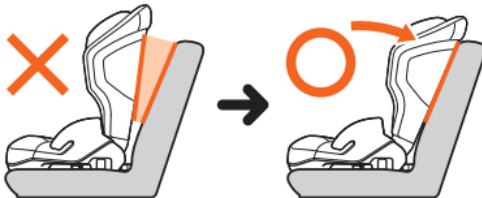


## ワンポイント

- 座面を押し込む際は、左右で押し込み量の差が大きくならないよう確認しながら、調節してください。
- 車両によっては、しっかり押し込んでもチャイルドシート背面と車両背もたれとの間にすき間が生じる場合があります。

# 車への取り付けかた

5 チャイルドシートと車両背もたれとの間に、すき間がなくなるように調節する。



車両背もたれがリクライニングできない場合は、チャイルドシートの背もたれの角度を調節し、車両座席とのすき間をなくす。

## チャイルドモードの使いかた

### 背もたれの使用範囲

- ①背もたれを水平に倒した状態から起こしていくと1つ目の突起部を乗り越えます。  
②さらに起こすと2つ目の突起部を乗り越え、背もたれを自立させることができます。  
背もたれは、1つ目の突起を乗り越えたところから2つ目の突起を乗り越えたところの間で使用してください。



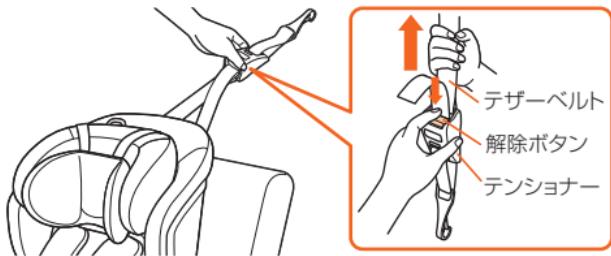
### 注意

- 車両背もたれがリクライニングできる場合は、チャイルドシートの背もたれが「背もたれの使用範囲」の角度になるように調節してください。「背もたれの使用範囲」より倒れた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

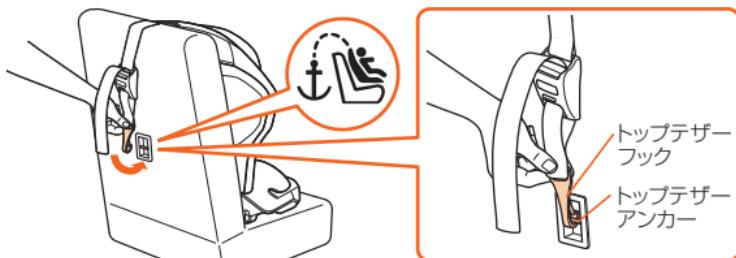


- チャイルドシートと車両背もたれのすき間が極端に空いた状態で使用すると、事故などの衝突時に本来の機能を果たさず、危険です。

## 6 テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。



## 7 トップテザーアンカーにトップテザーフックを固定する。 ※イラストはトップテザーアンカーが車両座席の背面にある場合



## ワンポイント

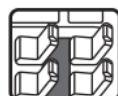
● トップテザーアンカーの位置は車種によって異なります。トップテザーフック取り付けの詳細については車両の取扱説明書をよくお読みください。

※車両座席の背面以外のトップテザーアンカー位置の例

<ラゲッジスペース> <リアバーセルシェルフ>

<フロア>

<天井>

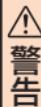


## 車への取り付けかた

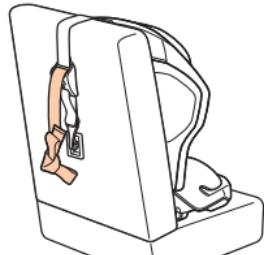
8 テンショナーのインジケーターが「緑色」になるまでテザーベルトを引き、強く締める。



チャイルドモードの使いかた

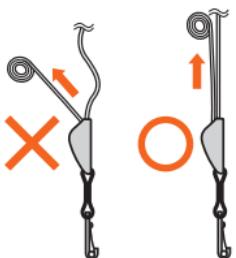


トップテザー取付完了後のあまつたテザーベルトは、お子さまに絡まつたり、車両ドアにはさむなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。お子さまの手の届かない位置でまとめてください。



ワンポイント

- テザーベルトを引く方向は、トップテザーアンカーの位置によって異なります。テザーベルトが平行になるように引いてください。
- 車両座席の後方にまわれる場合は、テザーベルトのテンショナーに近い位置を持って強く引いてください。
- 車両座席のリクライニングを変えた場合、再度テザーベルトを調節しなおしてください。



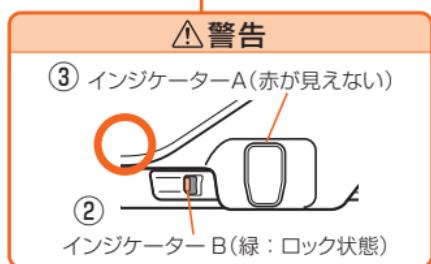
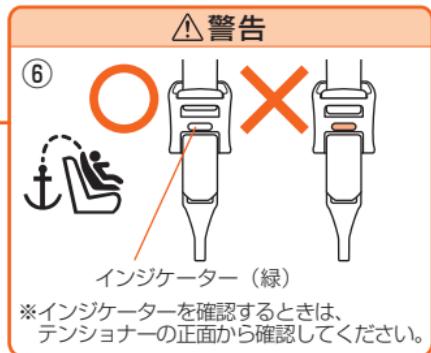
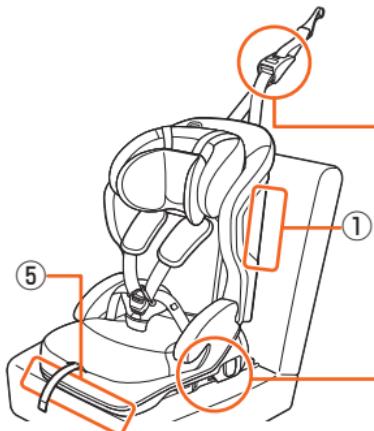
# 取り付け完了チェックのしかた

つづく 

取り付けが終わったら、正しく取り付けられているか次のことを確認してください。

- ①車両座席の背もたれとチャイルドシートの間に大きなすき間がないこと。
  - ②コネクター解除ボタンのインジケーター B が「緑色」になっていること。
  - ③コネクター調節レバーのインジケーター A の「赤色」が見えなくなっていること。
  - ④チャイルドシートを持ち、前後左右にゆすり、しっかり取り付けられていること。
  - ⑤チャイルドシートの左右が車両座席と平行になっていること。(ISOFIXコネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)
  - ⑥テンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること。
- ご不明な点は当社コンシューマーブラザへお問い合わせください。

チャイルドモードの使いかた



# 取り付け完了チェックのしかた

## ワンポイント



### ●車両座席のひじかけなどに隠れてインジケーターが目視で確認できない場合

ISOFIX取付金具へISOFIXコネクターを差し込み、左右のISOFIXコネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後に「取り付け完了チェックのしかた」①④⑤⑥の完了チェックを行ってください。

### ●車両座席の形状によってコネクター調節レバーの操作ができない場合

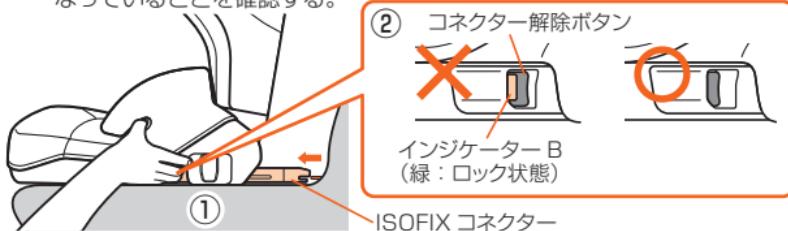
ISOFIXコネクターの長さを車両背もたれに接するよう調節した上で、ISOFIX取付金具へISOFIXコネクターを差し込み、左右のISOFIXコネクターが「カチッ」と音がしてロックされたことを確認してください。その後、「取り付け完了チェックのしかた」①④⑤⑥の完了チェックを行ってください。

# 車からの取りはずしかた

- 1** ①テンショナーの解除ボタンを押しながらテザーベルトを引き、ゆるめる。  
 ②トップテザーアンカーからトップテザーフックをはずす。



- 2** ①左右のコネクター解除ボタンを2本の指で押して、ISOFIX取付金具からISOFIXコネクターをはずす。  
 ②インジケーターBがロック解除状態（「緑色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。



ワンポイント

 **ISOFIXコネクターの解除が固いときは**

ISOFIXコネクターがきちんと取り付けられていると、車両座席の反発力により、ISOFIXコネクターの解除が固くなる場合があります。固い場合は、以下の方法で片側ずつ車両座席からの反発を押し戻し、解除を行ってください。

- ①座面を車両背もたれに押し込みながらコネクター調節レバーを引き、ISOFIXコネクターを伸ばす。  
 ②コネクター解除ボタンを押す。



# 幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた

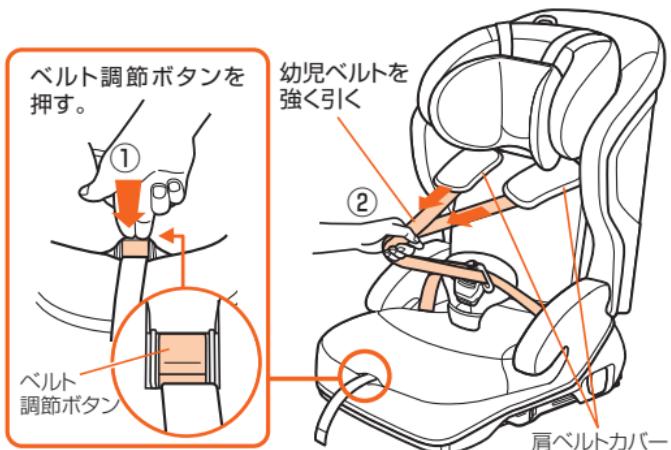
お子さまの成長にあわせ、幼児ベルトとヘッドガードの位置を変えて使用します。

幼児ベルトとヘッドガードの位置は、11段階に調節することができます。

1

- ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
  - ②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
- ※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。

チャイルドモードの使いかた

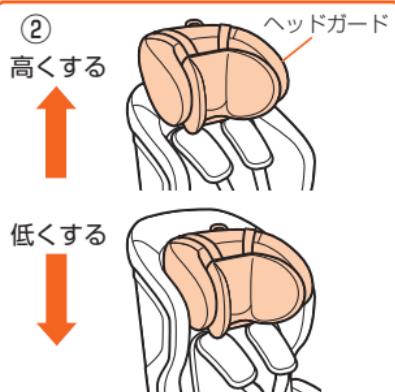


- 2** ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、高さを調節する。  
 ②適切な位置でヘッドガード調節レバーから手を離す。  
 ③ヘッドガードを上下に動かし、固定されていることを確認する。



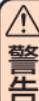
## ワンポイント

調節の際はヘッドガード調節レバーを確実に引き上げたまま行ってください。

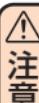


## 幼児肩ベルト位置の目安

幼児肩ベルトがお子さまの肩と同じか、肩よりやや高い位置にくるようにヘッドガードの高さを調節してください。



幼児肩ベルト位置を調節すると、幼児ベルトが締まったり、ゆるんだりします。お子さまを幼児ベルトで拘束した後は、幼児肩ベルト位置を調節しないでください。

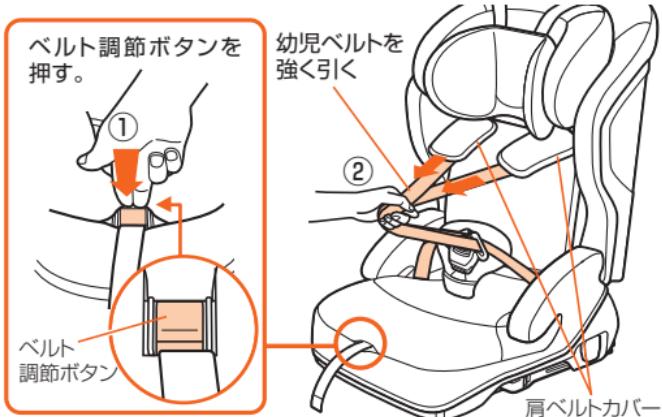


幼児肩ベルト位置を調節時は、お子さまの手や指などを近づけないでください。また、同乗者の手元にも十分にご注意ください。手や指などはさまれ、ケガをするおそれがあります。

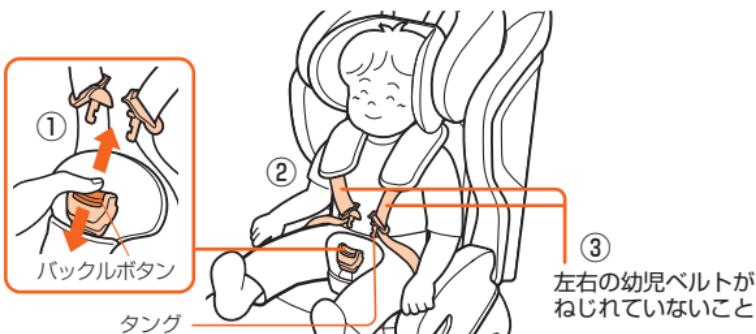
# お子さまの座らせかた

チャイルドモードの使いかた

- 1 ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、  
②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。  
※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。



- 2 ①バックルボタンを押し、タングをはずす。  
②お子さまを深く座らせ、腕を左右の幼児ベルトに通す。  
③左右の幼児ベルトがねじれていないうことを確認する。

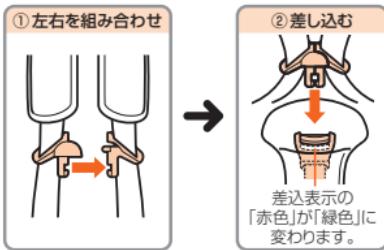


## 警告

- お子さまを乗せるときは、厚手の上着は脱がせてください。  
しっかりと拘束できない場合があります。
- お子さまを座らせるときには、下図のような座らせかたをしないでください。  
チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険をまねくおそれがあります。



- 3 ①左右のタングを組み合わせ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込む。  
 ②バックルのインジケーターが「緑色」に変わっていることを確認する。



※ イラストはジョイトリップアドバンス  
プラス/プレミアムのもの。

## 危険

- チャイルドシートのタングがしっかりとバックルに差し込まれ、表示が緑色に変わっていることを確認してください。
- タングをバックルに差し込んでもインジケーターが「緑色」に変わらないときは、ご使用にならないでください。

## ワンポイント



- バックルのボタンは、お子さまの力でははずれないように固くしてあります。
- 左右のタングを組み合わせないと、バックルに差し込めません。

# お子さまの座らせかた

チャイルドモードの使いかた

4

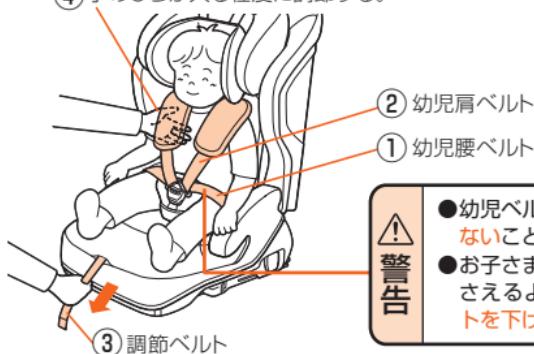
- ①幼児腰ベルトは、骨盤をしっかりと押さえるように、低く下げる。  
②幼児肩ベルトは、必ず肩の中央に十分かかるようにする。

※肩ベルト高さ調節は33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」を参照。

③調節ベルトを手前に引き、

④お子さまと幼児ベルトの間に、大人の手のひらが入る程度に幼児ベルトの長さを調節する。

④手のひらが入る程度に調節する。

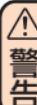


② 幼児肩ベルト

① 幼児腰ベルト

警告

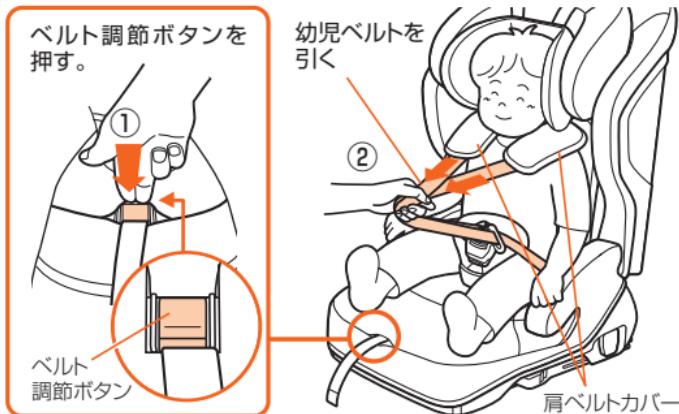
- 幼児ベルトにねじれやたるみがないこと。
- お子さまの骨盤をしっかりと押さえるように、必ず**幼児腰ベルトを下げる**こと。



必ず幼児ベルトの長さを調節してください。お子さまの体にフィットしていないと、衝突時にお子さまが飛び出したり、ベルトが首に巻き付き窒息するおそれがあります。

# お子さまのおろしかた

- ①ベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
  - ②左右の幼児ベルトを手前に強く引き、ゆるめる。
- ※肩ベルトカバーを引いても、幼児ベルトはゆるみません。
- ③バックルボタンを押し、タングをはずす。
  - ④お子さまをおろす。



チャイルドモードの使いかた

# ジュニアモードへの変更のしかた

ジュニアモードでは、以下の3通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm～150cmまで						
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。					
車両への固定方法	A		B		C	
	ISOFIXコネクター、トップテザーと車両シートベルトで取り付けます。		ISOFIXコネクターと車両シートベルトで取り付けます。		お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。	
	車両シートベルト	使用	車両シートベルト	使用	車両シートベルト	使用
	トップテザー	使用	トップテザー	不使用	トップテザー	不使用
変更のしかた	下記の1～10の手順で操作を行ってください。					
		トップテザー、テザーベルトの収納を行ってください。 (43ページ「BまたはCの変更のしかた」参照)			ISOFIXコネクターを収納してください。 (44ページ「Cの変更のしかた」参照)	

## 変更のしかた

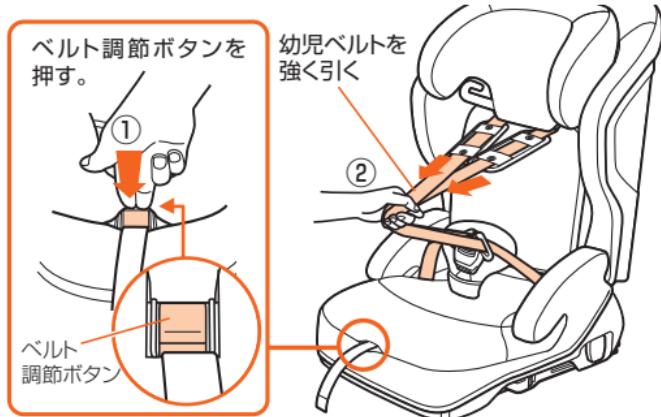
**1** ヘッドクッションを取りはずす。  
(55ページ「ヘッドクッションの取りはずしと取り付け」参照)

**2** 肩ベルトカバーを肩ベルトカバーベースからはずす。  
(58ページ「肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け」参照)

**3** 腰ベルトカバーをはずす。  
(59ページ「腰ベルトカバーの取りはずしと取り付け」参照)  
※ジョイントリップ アドバンス プラス/プレミアムのみ

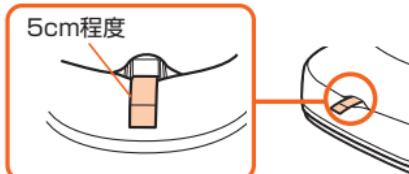
## 4 幼児ベルトを引き出す。

- ① 座面シートカバー下のベルト調節ボタンの奥側を押しながら、
- ② 左右の幼児ベルトの両方を持ち、手前に強く引き、幼児ベルトが引けなくなるまで引き出す。



## 5 ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを最上段まで引き上げる。

調節ベルトの長さが5cm程度になるまで幼児ベルトを強く引き出す。



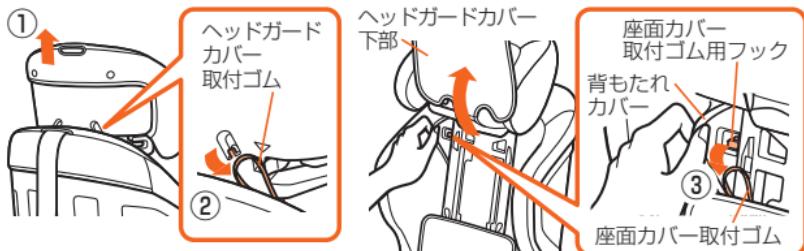
## ワンポイント



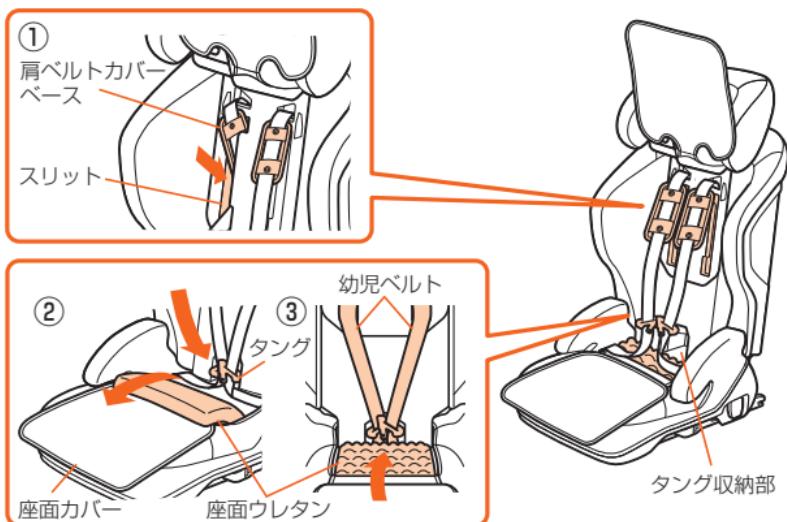
幼児ベルトの長さの状態によっては、ヘッドガードが最上段まで引き上がらない場合があります。その場合は再度幼児ベルトを引き出す操作を行い、ヘッドガードの高さを最上段まで引き上げてください。

# ジュニアモードへの変更のしかた

- 6** ①ヘッドガード調節レバーを引きながら、ヘッドガードを最上段まで引き上げる。  
②左右のヘッドガードカバー取付ゴムをはずす。  
③ヘッドガードカバーワー下部をめくり上げ、左右の座面カバー取付ゴムをはずす。



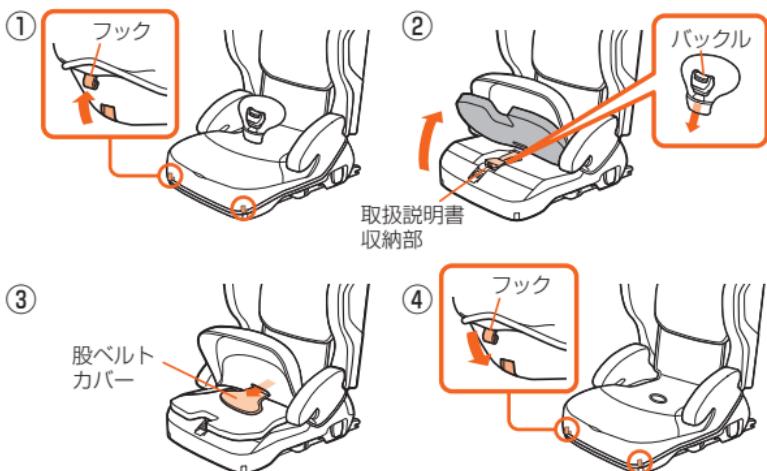
- 7** ①肩ベルトカバーベースを、背もたれのスリットに収納する。  
②座面カバーと座面ウレタンをめくり、タング収納部にタングを収納する。  
③幼児ベルトがねじれないようにウレタンを戻す。



- 8** ①左右の座面カバー取付ゴムを取り付ける。  
②左右のヘッドガードカバー取付ゴムを取り付ける。



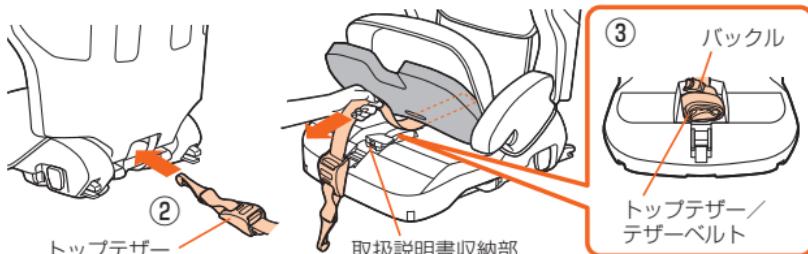
- 9** ①座面カバー前面の2ヵ所のフックをはずす。  
②座面カバーとウレタンをめくりバックルを下に抜き取扱説明書収納部に収納する。  
③股ベルトカバーを座面カバーの裏側に引き込む。  
④座面カバー前面の2ヵ所のフックをとめる。



# ジュニアモードへの変更のしかた

## 車両への固定方法BまたはCの変更のしかた

- 10** 固定方法B、Cで使用する際は、トップテザー、テザーベルトの収納を行う。
- ①座面カバー前面の2ヵ所のフックをはずす。
  - ②トップテザーを後ろから、座面と背もたれの間を通して、座面カバーとウレタンの下に引き出す。
  - ③取扱説明書収納部にテザーベルトを束ねて、バックルといっしょに収納する。



### ジュニアモードの使いかた

**注意**

取りはずしたヘッドクッション、肩ベルトカバー、腰ベルトカバー(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアムのみ)を車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。  
(大切に保管し、なくさないようにしてください。)

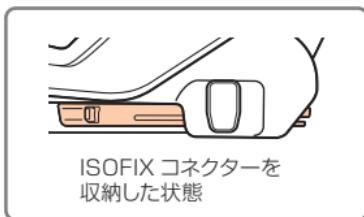
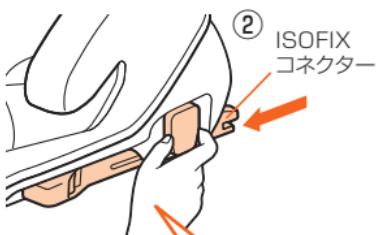
●ヘッドクッション      ●肩ベルトカバー      ●腰ベルトカバー／クッションベルト

(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム)

## 車両への固定方法Cの変更のしかた

## 11 固定方法Cで使用する際は、ISOFIXコネクターの収納を行う。

- ①側面のコネクター調節レバーを引きながら、
  - ②ISOFIXコネクターを止まるまで収納する。
  - ③コネクター調節レバーから手をはなし、インジケーターAがロック状態（「赤色」の表示が見えない状態）になっていることを確認する。
- ※左右それぞれ作業を行ってください。



ジユニアモードの使いかた

# 取り付け準備



危  
険

- 取扱説明書および本体表示の説明以外の方法で取り付けないでください。
- フロントエアバッグ装備の座席では、チャイルドシートを使用しないでください。衝突時、エアバッグの作動により大きな衝撃を受け、危険です。



警  
告

車両シートベルトに傷がある場合は、その座席に取り付けないでください。

1

チャイルドモードと同様の手順で取り付け準備をする。

(22ページ「チャイルドモードの使いかた／取り付け準備」参照)

ジ  
ュ  
ニ  
ア  
モ  
ー  
ド  
の  
使  
い  
か  
た

# 車への取り付けかた

ジュニアモードでは、以下の3通りの取り付けかたができます。

お子さまの身長 100cm～150cmまで			
お子さまの拘束方法	幼児ベルトを収納して、車両シートベルトで直接お子さまを拘束します。		
車両への固定方法	A	B	C
	ISOFIXコネクター、トップテザーと車両シートベルトで取り付けます。	ISOFIXコネクターと車両シートベルトで取り付けます。	お子さまを拘束している車両シートベルトを使用して車両座席に固定します。

## Aでの取り付け方

### 1 ISOFIXコネクター、トップテザーを取り付ける。

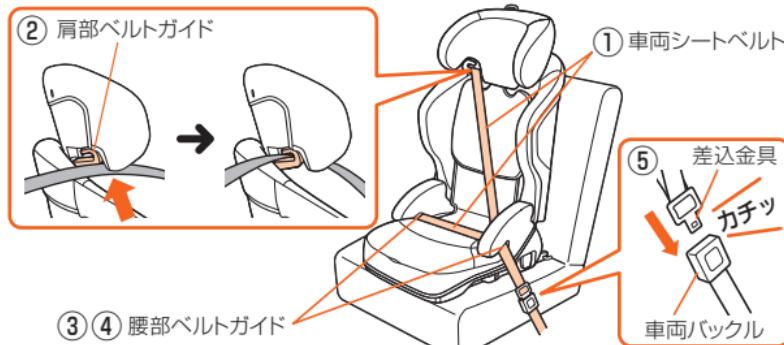
24ページから29ページ「車への取り付けかた」の1から8の手順を行なう。  
30ページ、31ページ「取り付け完了チェックのしかた」の確認を行う。

### 2 車両シートベルトで固定する。

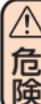
- ①車両シートベルトを引き出す。
- ②車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。
- ③車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。
- ④肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。
- ⑤「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



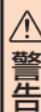
急ブレーキや衝突時に乗員に当たるおそれがありますので、お子さまを座らせていないときでもチャイルドシートを固定してください。



# 車への取り付けかた



**危険** ISOFIXコネクターを使用することで、車両シートベルトや車両パックルの取り付けのさまたげになる場合は、ISOFIXコネクターを使用せず、車両シートベルトだけで取り付けてください。



車両パックルや差込金具が製品本体にあたり車両シートベルトにゆるみができると、取り付けが不安定になります。取り付けが不安定な状態では、使用しないでください。ご不明な点は当社コンシューマーブラザへお問い合わせください。



ジュニアモードの使いかた

## Bでの取り付け方

### 1 ISOFIXコネクターを取り付ける。

24ページから27ページ「車への取り付けかた」の2から5の手順を行う。

30ページ、31ページ「取り付け完了チェックのしかた」の①～⑤の確認を行う。

### 2 車両シートベルトで固定する。

(46ページ2の手順「車両シートベルトで固定する」参照)

※ISOFIXキャップが取り付けのさまたげになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。

## Cでの取り付け方

### 1 ISOFIXコネクターを収納する。

(44ページ「Cの変更のしかた」参照)

### 2 車両シートベルトで固定する。

(46ページ2の手順「車両シートベルトで固定する」参照)

※ISOFIXキャップが取り付けのさまたげになる場合は、ISOFIXキャップをISOFIX取付金具からはずしてください。

# お子さまの座らせかた

- 1 差込金具を車両パックルからいったんはずし、お子さまを深く座らせ、ヘッドガードの高さをお子さまにあわせて調節します。  
(34ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」2の手順参照)



## ヘッドガード(肩部ベルトガイド)の高さの目安

肩部ベルトガイドの位置は、お子さまの肩の高さよりも、少し上にしてください。



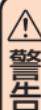
下がりすぎている



適切な高さ



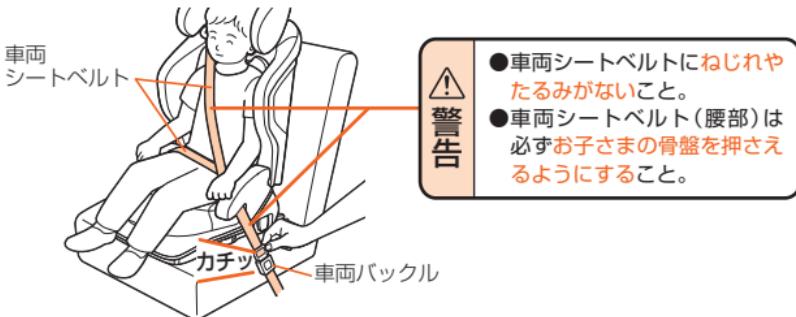
上がりすぎている



肩部ベルトガイドは、車両シートベルト(肩部)がお子さまの正しい肩の位置で締められるように調節するものです。お子さまが成長し、肩部ベルトガイドが低くなったりしたときには、ヘッドガードの高さを調節し直してください。

# お子さまの座らせかた

- 2** ①車両シートベルトを引き出す。  
②車両シートベルトを肩部ベルトガイドに通す。  
③車両シートベルトを左右の腰部ベルトガイドに通す。  
④肩ベルトガイドに通した車両シートベルトを車両バックル側の腰部ベルトガイドに通す。  
⑤「カチッ」と音がするまで差込金具を車両バックルに差し込む。



ジュニアモードの使いかた

- 3** 車両シートベルトがたるんでいる場合は、車両シートベルト(肩部)を上へ引いて張り具合を調節する。



⚠  
注意

- 本製品は、車両シートベルトを締めていない状態では不安定です。保護者のかたの補助なしでお子さまが1人で乗り降りすると、車両座席からずれ落ちたり倒れたりするおそれがあります。必ず保護者のかたが乗せ降ろしをしてください。
- お子さまを下図のように座らせると、チャイルドシートが本来の機能を果たさず、危険です。



- ・のけぞる、前かがみになる。
- ・お子さまが、体を左右どちらかに傾けて座っている。



- お子さまの腕は、必ず車両シートベルトの上になるようにしてください。



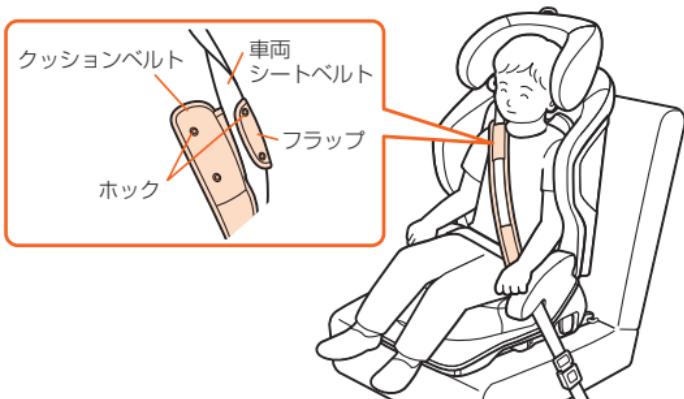
- ・中腰・正座・立てひざなどをする。



## クッションベルトの使いかた(ジョイトリップアドバンスプラス/プレミアムのみ)

「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした腰ベルトカバーを準備してください。腰ベルトカバーはジュニアモードでは「クッションベルト」としてご使用いただくことができます。

- 車両シートベルトにクッションベルトを巻き付けて、上下各2ヵ所のホックで固定する。その際、下図のように、クッションベルトのフラップが車両シートベルトの上にくるようにホックで留めます。
- 49ページ「お子さまの座らせかた」とおり、お子さまを座らせて、車両シートベルトを締める。



# 取り付け完了チェックのしかた

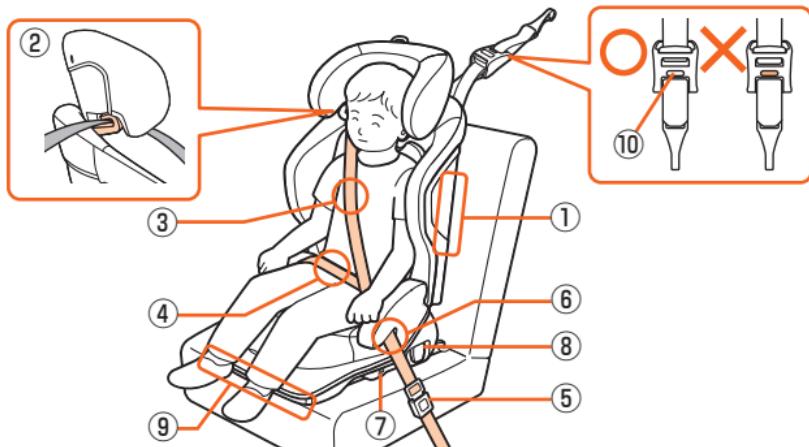
お子さまを座らせ、車両シートベルトを締めたら、次のことを確認してください。

車両への取り付け方法 A は①～⑩を確認

車両への取り付け方法 B は①～⑨を確認

車両への取り付け方法 C は①～⑥を確認

- ①車両座席の背もたれとチャイルドシートの間に大きなすき間がないこと。
- ②車両シートベルトが肩部ベルトガイドを通り、お子さまの首を圧迫していないこと。また、肩からはずれていないこと。
- ③車両シートベルトがお子さまの体に密着していて、ねじれやたるみがないこと。
- ④車両シートベルトがお子さまの骨盤を押さえていること。
- ⑤車両シートベルトの差込金具が車両パックルに確実に差し込まれており、はずれないこと。
- ⑥車両シートベルトが左右の腰部ベルトガイドを通っていること。
- ⑦コネクター解除ボタンのインジケーター B が「緑色」になっていること。
- ⑧コネクター調節レバーのインジケーター A の「赤色」が見えなくなっていること。
- ⑨本体左右が車両座席と平行になっていること。(ISOFIXコネクターが片側のみ極端に押し込まれていないこと。)
- ⑩テンショナーのインジケーターが「緑色」になっていること。



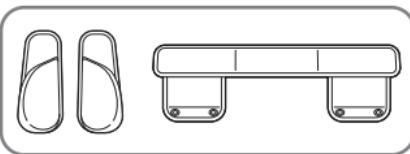
# チャイルドモードへの戻しかた

「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずした部品を準備してください。

チャイルドモードへの戻しかたは、(39ページから44ページ「ジュニアモードへの変更のしかた」の逆の手順を行ってください。)

## 注意

- 「ジュニアモードへの変更のしかた」で取りはずしたヘッドクッション、肩ベルトカバー、腰ベルトカバー(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアムのみ)がすべて取り付けられているか確認してください。
- トップテザーとバックルが収納されていないことを確認してください。
- ヘッドクッション
- 肩ベルトカバー
- 腰ベルトカバー／クッションベルト



(ジョイトリップ アドバンス プラス / プレミアム)

ジュニアモードの使いかた

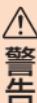
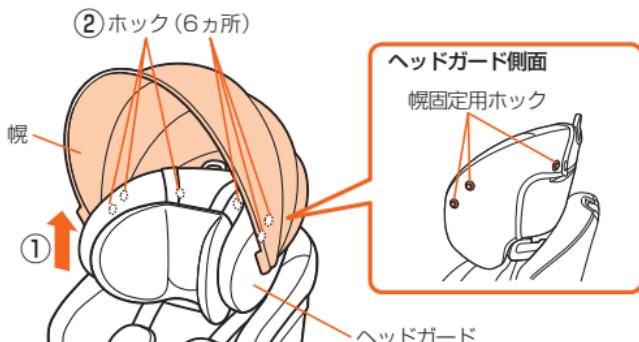
※車両への取り付け方法Aで取り付けた場合は、トップテザーを戻す手順は必要ありません。

# 幌の使いかた (ジョイトリップ アドバンス プレミアムのみ)

①ヘッドガードを引き上げる。

(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)

②ヘッドガード裏側2カ所と側面左右に各2カ所にある計6カ所のホックで、幌の取りはずしと取り付けを行う。



- 幌は誤った取り扱いをすると、事故などの衝突時にお子さまに接触する場合があり危険です。
- 全てのホックをヘッドガードカバーに必ず取り付けてください。ホックが外れた状態では絶対に使用しないでください。



- チャイルドシートを持ち運びするときは、幌を持たないでください。製品が破損する原因となります。
- 幌におもちゃやサンシェードなどを取り付けて使用しないでください。急ブレーキや衝突時にお子さまにあたるおそれがあります。

※幌が車の内装に干渉する場合は、幌を使用しないでください。

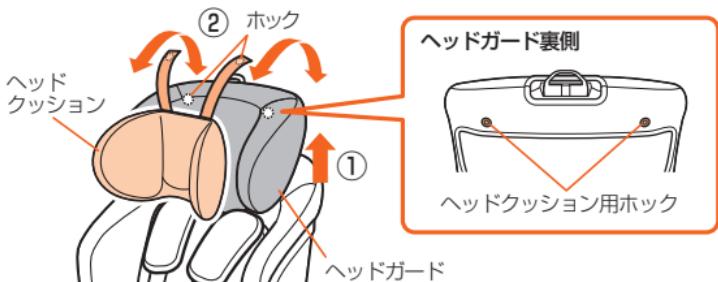
# ヘッドクッションの使いかた

チャイルドモード	ジュニアモード
<p>身長 76cm ~ 105cm まで かつ 月齢 15 カ月以上 (※体重 20kg を超えるお子さまは、使用できません。)</p>  <p><b>警告</b> 必ずインナーカッションを正しく取り付けて、お子さまの体にフィットした状態で使用してください。</p> 	<b>使用禁止</b>
<p><b>危険</b> ヘッドクッションは、誤った取り扱いをすると本来の機能を果たさず危険です。使いかたをよくお読みになり、正しく使用してください。</p> <p><b>注意</b> はずしたヘッドクッションを車内に放置しないでください。車内に転がり、運転のさまたげになる可能性があります。</p>	

お手入れ・その他

## ヘッドクッションの取りはずしと取り付け

- ①ヘッドガードを引き上げる。  
(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ②ヘッドガード裏側にある2カ所のホックで、ヘッドクッションの取りはずしと取り付けを行う。



# カバーの取りはずしかた・取り付けかた

つづく 

## ヘッドガードカバーの取りはずしと取り付け

- ①ヘッドガードを最上段まで引き上げる。  
(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」参照)
- ②ヘッドガード背面のヘッドガードカバー取付ゴム(左右各1ヵ所)をはずす。
- ③ヘッドガード背面のヘッドガードカバー取付フック(左右各1ヵ所)をはずす。  
※三角形の矢印が目印です。
- ④ヘッドガードカバー上部裏のフック(2ヵ所)をはずす。
- ⑤ヘッドガードカバーを上から取りはずす。

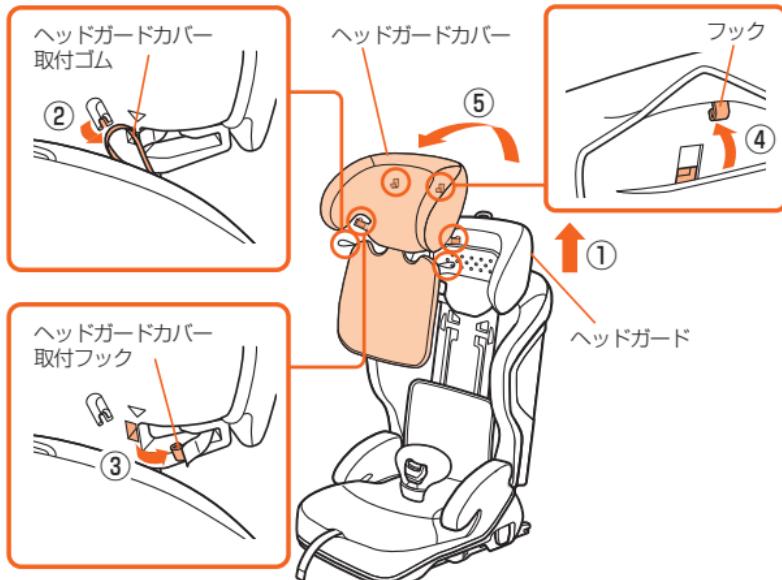
※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。

### ワンポイント



幼児ベルトの長さの状態によっては、ヘッドガードが最上段まで引き上がらない場合があります。その場合は再度幼児ベルトを引き出す操作を行い、ヘッドガードの高さを最上段まで引き上げてください。

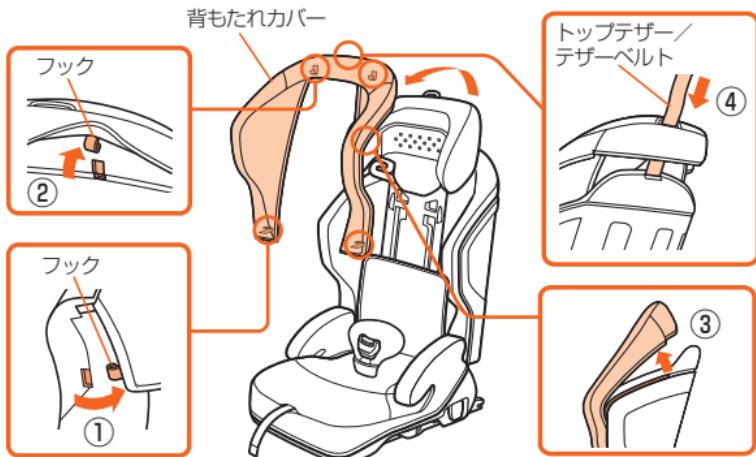
お手入れ・その他



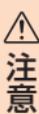
# カバーの取りはずしかた・取り付けかた

## 背もたれカバーの取りはずしと取り付け

- ①背もたれカバー下部のフック（左右各1ヵ所）をはずす。
  - ②背もたれカバー上部のフック2ヵ所をはずす。
  - ③背もたれカバー側面を本体背もたれ側面の溝からはずす。
  - ④背もたれカバー上部の穴からトップテザー、テザーベルトを引き抜く。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



お手入れ・その他

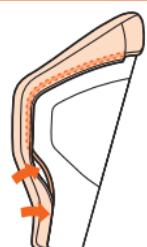


注意

使用する際は、必ず背もたれのカバーを取り付け、本体側面の溝に差し込んでください。

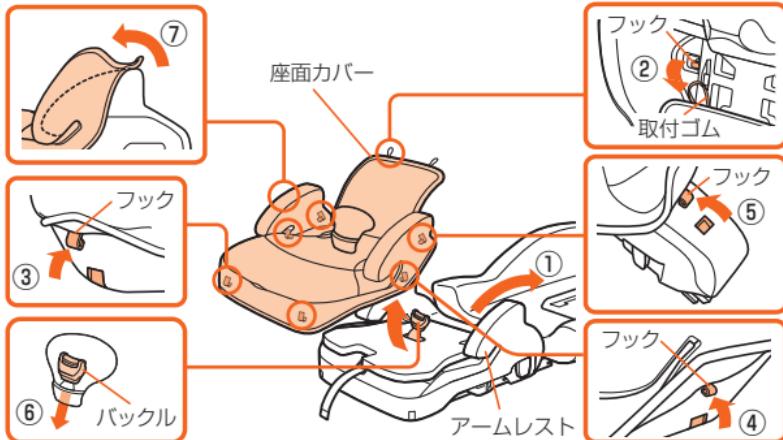
ワンポイント

背もたれカバーを取り付けるときは、下の方から順に本体側面の溝に差し込み、最後に全体を整えてください。



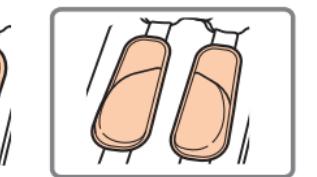
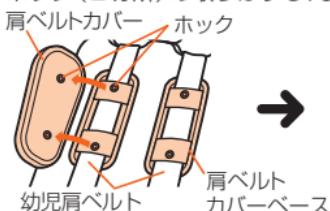
## 座面カバーの取りはずしと取り付け

- ①背もたれと座面をはずす。  
(60ページ「収納モードへの変更のしかた」1の手順を参照)
  - ②座面カバー取付ゴムをはずす。
  - ③座面カバーの前側のフック2カ所をはずす。
  - ④座面カバーの側面のフック(左右各1カ所)をはずす。
  - ⑤アームレスト後部のフック(左右各1カ所)をはずす。
  - ⑥バックルを抜く。
  - ⑦アームレスト部分を取りはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



## 肩ベルトカバーの取りはずしと取り付け

ホック(2カ所)の取りはずし、または取り付けをする。

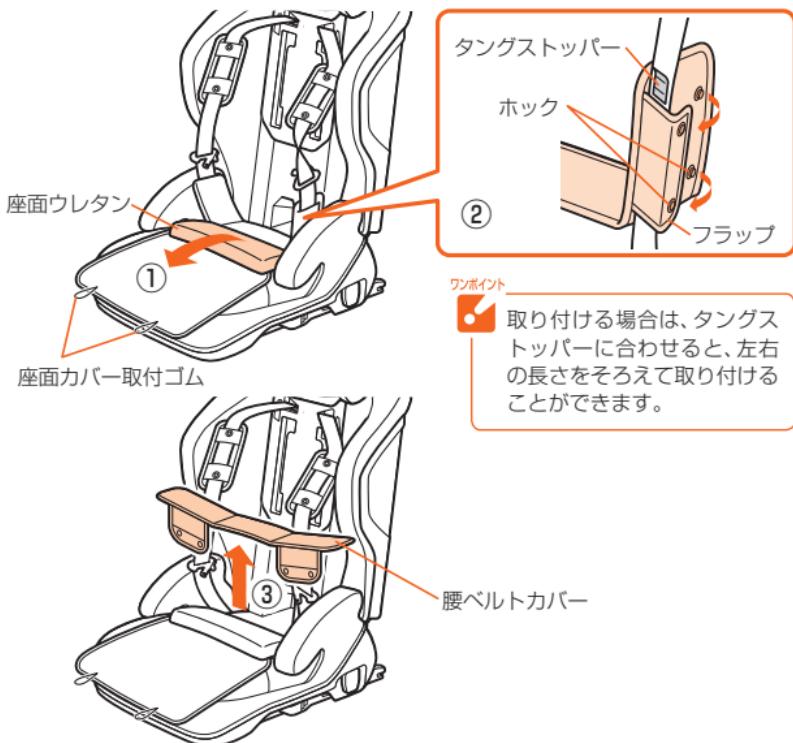


ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム

# カバーの取りはずしかた・取り付けかた

## 腰ベルトカバーの取りはずしと取り付け(ジョイトリップ アドバンス プラス/プレミアム)

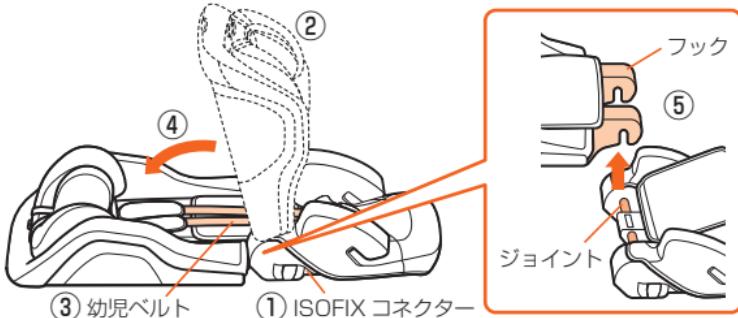
- ①左右の座面カバー取付ゴムをはずしウレタンをめくる。
  - ②腰ベルトカバーのホック(左右各2ヵ所)をはずし、腰ベルトに巻きついている左右のラップをはずす。
  - ③腰ベルトカバーを取りはずす。
- ※取り付けは、取りはずしの逆の手順です。



# 収納モードへの変更のしかた

つづく 

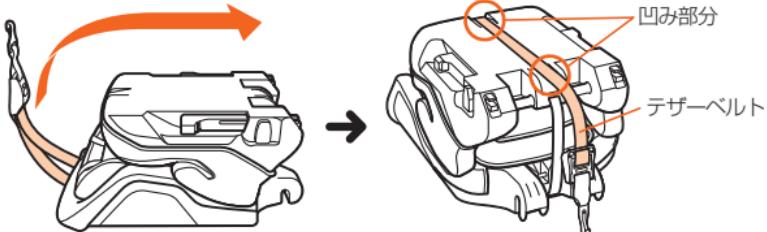
- ①ISOFIXコネクターを収納する。(44ページ「Cの変更のしかた」参照)  
②ヘッドガードを一番下まで下げる。  
③幼児ベルトをゆるめる。(33ページ「幼児肩ベルト位置・ヘッドガード位置の調節のしかた」1の手順参照)  
④背もたれを座面と水平になるまで倒し、  
⑤背もたれを持ち上げて背もたれのフックを座面のジョイントからはずす。



- 2 背もたれの上に座面を図のように置く。

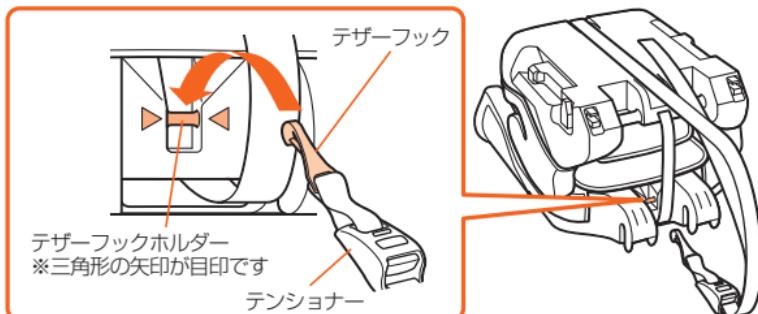


- 3 座面前後の凹み部分に合わせてテザーベルトをかける。



## 収納モードへの変更のしかた

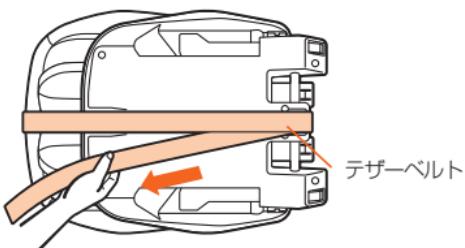
4 テザーフックを、背もたれ下のテザーフックホルダーに引っかける。



ワンポイント

このとき、テンショナーが表裏逆になりますが、  
使用上は問題ありません。

5 テザーベルトを締め付ける。  
※本体を持ち上げた際にぐらつかない程度に締め付けてください。



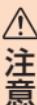
# 収納モードでの保管のしかた・持ち運びかた

## 収納モードでの保管方法

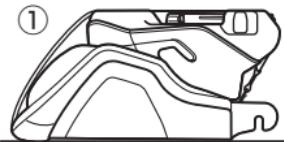
①寝かせて保管する場合は、背もたれを下にしてください。

②立てて保管する場合は、ジョイント部を下にしてください。

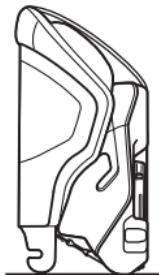
※収納モードで長期間保管すると、ヘッドガード、背もたれ、座面などの縫製品に凹みやシワなどの跡が残る場合があります。



- 収納モードで車などで運ぶ場合は、チャイルドシートが転倒したり移動をしないように注意してください。転倒や移動したチャイルドシートにぶつかる可能性があります。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での保管は避けてください。
- チャイルドシートに荷物を重ねた状態で保管をしないでください。  
故障や変形の原因となります。



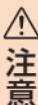
②



## 持ち運びかた

収納モードで持ち運ぶときは、チャイルドシートを図のように両手で持ち、抱えます。

その際にチャイルドシートがぐらつかないようにテザーベルトで固定されていることと、ISOFIXコネクターが完全に収納されていることを確認してください。



- 床などに置く場合は、破損しないように静かに置いてください。落としたり、乱暴に置くと破損し故障や変形の原因となります。
- 土の上など汚れた場所には置かないでください。故障や変形の原因となります。
- 持ち運ぶ場合は、テザーベルトで固定されてぐらつかないことを確認してください。



# お手入れのしかた

## シートカバーなど縫製品の洗いかた

洗濯時は次のことを守ってください。

### 洗濯上の注意

	液温は40°Cを限度とし、 洗濯機で非常に弱い洗濯ができる		アイロン仕上げ禁止
	塩素系および酸素系漂白剤の使用禁止		ドライクリーニング禁止
	タンブル乾燥禁止		非常に弱い操作による ウエットクリーニングができる
	日陰のつり干しがよい		

- 洗濯機をご使用の際は、ほつれや傷みの原因となるので洗濯用ネットに入れて洗濯してください。
- 洗濯の際は中性洗剤をおすすめします。蛍光剤・漂白剤入りの洗剤は肌荒れ、湿疹などのおそれがありますので使用しないでください。
- 洗濯機をご使用の際は、お使いの洗濯機の取扱説明書をよくお読みの上、洗濯してください。
- 製品の特性上、色あせことがあります。
- 洗濯の際は、他の衣料品や色の薄いものと区別されることをおおすすめします。
- 干すときは十分にすぎず、軽く脱水し、形を整えてください。
- ヘッドクッションを洗濯するときは、頭部左右に入っているクッションを取りはずしてください。(ジョイトリップアドバンス プラス/プレミアムのみ)

## 幌のお手入れのしかた (ジョイトリップ アドバンス プレミアムのみ)

- 幌は液中につけず、洗剤を入れた水、またはぬるま湯につけたスポンジなどを使用して汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水分を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。
- 製品の特性上、若干色あせことがあります。

## 本体、幼児ベルトのお手入れのしかた

通常は固くしぼった布で水ぶきしてください。汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めた液で汚れを落としてから水ぶきし、日陰で乾燥させてください。

## ウレタンについて

- シートカバーなどの縫製品の裏側のウレタンに染料が付着することがあります。品質上問題なく、安心してお使いいただけます。
- 座面のウレタンクッション材は洗濯できません。

### ⚠ 警告

中性洗剤を原液で使用したり、ガソリン、ベンジンなど有機溶剤の使用はおやめください。本体および幼児ベルトを傷めるおそれがあり危険です。

# 保管・廃棄のしかた

## 保管のしかた

### 本 体

長期間使用しないときは、車からおろし、直射日光が当たらず風通しの良い、お子さまの手の届かない場所に保管してください。

### 取扱説明書

ご使用前に必ず本書を読み、十分ご理解の上、座面カバー下の取扱説明書収納部に保管してください。

## 廃棄のしかた

- お住まいの各自治体の規程に従い処分、廃棄してください。
- 衝突事故や製品を落下させたときなど、1度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損がなくても絶対に使用しないでください。事故により処分する場合は、本製品が再利用されないようにシートカバーなどをはずして、廃棄してください。

## 製品を正しく安全にお使いいただくために

製品を正しく安全にお使いいただくための情報を、当社ホームページでご案内しております。

下記のホームページをご覧ください。

[www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html](http://www.combi.co.jp/soudan/after/safetyinfo.html)

お手入れ・その他

## 『標準使用期間』について

本製品の『標準使用期間』は「新規購入後12年」です。

標準使用期間を経過した場合、部品の経年劣化により、本来の性能を果たせず危険をまぬくおそれがあります。不測の事態に備えてご使用をお控えください。

- 新規購入日を記録するために、販売店発行のレシート（領収書）と取扱説明書を必ず保管してください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管条件により故障する場合があり、この期間の品質を保証するものではありません。品質保証書に記載している「お買い上げ日より1年間」の保証期間を過ぎた場合の修理は有償となります。
- 標準使用期間を過ぎた製品の修理は、製品全体の安全性の観点からお引き受けできません。
- 使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

# 品質保証書 コンビ チャイルドシート

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から下記期間中製品の故障が発生した場合は、本書をご提示の上、当社コンシユーマーブラザ、または、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製品名	ロットNo.	保証期間 お買い上げ日より1年間 (ただし保証規定による)
(ヘッドガード背面のシールをご覧ください)		
お客様 お名前		お買い上げ日 年 月 日
ご住所 〒	TEL	
販売店 店名	TEL	
住 所		

## 修理メモ

### 保証規定

- 1度ご使用になった製品は、原則としてお取り替えできません。
  - 保証期間内(お買い上げ日より1年間)に正常な使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。電話にてお問い合わせの上、当社コンシユーマーブラザにお送りください。
  - 保証期間内でも次のようなものは有料修理になります。
    - プラスチック部品の自然劣化による変色。
    - シートカバーなど、縫製部品の傷ややぶれ。
    - お客様の誤使用、または改造や不当な修理による故障および損傷。
    - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および損傷。
    - 本書に製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
    - 本書のご提示がない場合。
    - 一般家庭以外で業務用やレンタルなどでご使用され故障した場合。
    - 有料修理の場合に要する運賃などの諸経費。
  - 衝突事故など、1度でも強い衝撃を受けた製品の修理はできません。
  - 本書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。
  - 製造中止後の製品については必要部品の在庫がなくなった場合、修理できないこともあります。
- お買い上げ後、製品名、お買い上げ日、お客様名、販売店名をただちにご記入願います。
- 万一故障が生じました場合は保証書をご提示ください。本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- レシート(領収書)を本書といつしょに保管してください。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社コンシユーマーブラザ、またはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 品質保証書にご記入いただいた個人情報は、故障・修理の確認、修理品の発送にのみ利用いたします。それ以外の用途には利用いたしません。

## Combi

コンビ  
ジョイトリップ  
アドバンス

# コンビ株式会社

■ ホームページ  
■ オンラインストア(部品購入窓口)

[combi.co.jp](http://combi.co.jp)  
[combi.co.jp/store](http://combi.co.jp/store)

製品・部品に関するお問い合わせ、修理などのご相談は、コンシユーマーブラザにて対応いたします。

コンシユーマーブラザ (Customer Service Center)

受付時間：9:30～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒339-0025 埼玉県さいたま市岩槻区釣上新田271

TEL. (048) 797-1000 FAX. (048) 798-6109

コンシユーマーブラザ (Customer Service Center) / 西日本担当

受付時間：10:00～17:00 (土日祝日、年末年始を除く)

〒540-0026 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16

TEL. (06) 6942-0379 FAX. (06) 6942-0302

\*コンシユーマーブラザホームページ [combi.co.jp/soudan](http://combi.co.jp/soudan)